

総合計画審議会 各分科会におけるご意見・ご提案に対する検討・対応状況について

資料No.3-3

【第3分科会】

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
1	共通	共通	-	グラフ	片山委員	グラフ全般に言えることだが、この状況が良いのか悪いのか、目標値もないのでよくわからない。現状と課題に書いた方がよいのではないか。こういう傾向だからこのように改善していきたい、という記載の方がわかりやすくなる。	修正	グラフ及び写真については、再度、全体を精査し、現状と課題に記述した内容とグラフの内容が関連するよう必要な修正を行った。
2					若尾委員	グラフが良いのか悪いのかわからない。どこを目指しているのかわからない。各グラフに考察を追記してほしい。	修正	全てのグラフに考察をつけることは難しいため。現状と課題の内容とグラフのデータとの繋がりに留意し、必要に応じて差し替えやデータ項目の追記を行うなど修正を行った。
3				施策	土屋委員	1つの施策に主な構成事業が1つのものがあるが、様々な取組をしていると思うので、しっかりと記載した方がよい。	参考	1つの事務事業において、施策の目的を達成するためのすべての取組が位置付けられているものがあるため、参考とする。ただし、取組を精査する中で、複数の事務事業の方が良い場合には修正。
4				その他	若尾委員	わかりづらい言葉が出てきた場合、注釈ばかりで表現するのは難しいと思うので、この冊子を見た人が勉強できるように、QRコードを付して、その場ですぐに学習できるようにしたらどうか。	参考	QRコードの利用も含め、よりわかりやすい冊子とするため、デザインやレイアウト等を検討していく。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容		
5	基本目標4	1 地球環境	76	施策1	土屋委員	ESCO事業については注釈を付けた方がよい。	参考	前ページ(前期基本計画の第1部総論・第1章計画のフレームの第3節財政 本冊P33)において、既に注釈を記しているため、本箇所においては、記載は行わない。		
6				施策2	池田委員 壽福委員	クールチョイス22について、一般的ではない。22が富士につながること、22が意味することを記載するとよい。	修正	注釈を追加。22が富士の語呂合わせであり、富士市独自の22種類の取組があることも説明に追加。		
7		2 自然・生活環境	77・78	政策分野全体	土屋委員 深澤委員	水系、例えば富士川、潤井川、浮島などの記載がないことが気になる。富士山の恵みとしての地下水、湧水があり、記載した方が富士市らしくなるのではないか。	参考	現状と課題の1にある「豊かな自然環境」とは、富士山、愛鷹山、富士川、駿河湾をはじめとして、市内のそれぞれの地域に形成されている、河川、湧水地、奥山、里地里山、市街地、田園、湿地、海岸、海洋などの様々な自然環境や生態系のことを表している。 関連計画の「生物多様性ふじ戦略」などに具体的な位置づけがあることから、総合計画では包含した表現とさせていただきます。		
8				将来のまちの姿、現状と課題2	土屋委員	「良好な生活環境を保全」とある一方で、「生活環境の改善」とあり、保全と改善の表現が矛盾している。	修正	表現の整合性を図るため、現状と課題の2において、「大気・水質に関する環境基準は概ね達成しているものの、」、また、「生活環境を良好に保ち続けること」の文言へ修正。		
9				グラフ	深澤委員	基準とは達成しているか否かの判断が一般的であり、環境基準達成率の「率」がわからない。	修正	グラフで示す「大気・水質環境基準達成率」について、注釈を付け、内容を説明。		
10				78	施策1	池田委員	重要種とはどのようなものを指すのかわからない。	修正	注釈を追加。	
11				3 循環型社会	79	グラフ	土屋委員	数値の増加が大きな要因によるものではなければ、縦軸を調整した方がよいと思う。	修正	グラフの縦軸を修正。
12					79・80	現状と課題1 施策1	片山委員	施策に食品ロス削減とあるので、現状と課題にも食品ロスが出ている状況について記載してはどうか。	参考	現状と課題の中にある「廃棄物の発生を一層抑制」と記載があり、食品ロスも廃棄物の一部として記載している。
13		80	施策1		壽福委員	新環境クリーンセンターの焼却灰について、どのように活用され資源されているのか記載した方がわかりやすい。	修正	建築・土木資材として資源化している文言を追記。		

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
14	基本目標4	3 循環型社会	80	施策2	深澤委員	新環境クリーンセンターなど地場の話が続く中で、海洋プラスチック問題は地球環境的な話であり、他の記載との規模が異なる。市民や事業者の意識醸成であれば、政策分野1の環境教育に位置づけても良いのではないかと。	参考	河川等に廃棄されたプラスチック類が海に流され、それが海岸に打ち上げられるため、海洋プラスチック問題への対応は、不法投棄対策事業に位置づけている。 パトロールにより不法投棄を厳しく監視することにより、不必要な使い捨てプラスチックごみの発生抑制や市民や事業者の意識醸成を図り、廃棄物の適正処理を促していく。
15		4 水利用	81	グラフ	深澤委員	汚水処理人口普及率という言葉は一般的ではないので、説明を加えた方がよい。	修正	注釈を付け、内容を説明。
16			81・82	現状と課題1 施策1	片山委員	安全でおいしい水を富士市はもっとアピールしたらよいと思う。	参考	課題である老朽化への対応や災害対策を踏まえて、総合計画では安全・安心な水の持続的な供給を目指した施策を位置づけ、実施計画である富士市水道事業経営戦略プランに基づき、広報紙の作成や啓発活動、各種イベントでのPR活動などの広報活動を行っていく。
17	基本目標5	1 ものづくり産業	83・84	政策分野全体	深澤委員	文中に「CNF」、「CNFプラットフォーム」等の言葉に注釈を入れた方がよい。	修正	注釈を追加。
18			83	グラフ		事業所数を示す「グラフ」が政策分野4にもあるので、違いが分かるよう注釈を入れた方がよい。	修正	グラフタイトルの表記を「製造品出荷額等と製造業の事業所(従業者4人以上)の数の推移」へ修正。また、政策分野4「中小企業等振興」で示していた「事業所数と従業者数の推移」のグラフは、「有効求人倍率の推移」のグラフへ差し替え。
19			84	施策1	片山委員	施策内容の1つ目に「参入を促進します。」とあるが、具体的にどのように参入するか具体的に記載した方がよいのではないかと。	参考	1つ目に「マッチング機会の創出やビジネス化の支援など」と例示があり、それ以外の取組については各個別計画において記載済み。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
20	基本目標5	2 商業・流通・サービス産業	85	グラフ	深澤委員	「商店街で実施したイベント来場者数」のグラフは、課題である恒常的にぎわいの創出に関連しないのではないかな。	修正	「商店街で実施したイベント来場者数」のグラフを、「富士本町・吉原商店街の空き店舗の割合」のグラフへ差し替え。
21			86	施策1	土屋委員	中心市街地の活性化では、富士駅前再開発などのハード事業が予定されているので、関連した記載をしたらいかがか。	修正	「中心市街地周辺の環境整備と連携したにぎわいづくりによる」との文言を追加。
22		3 農林水産業	87・88	現状と課題1 基本方針1 施策1	池田委員	第五次総合計画では、「地産地消」の記載があったが、引き続き、取り上げてほしい。	修正	「地産地消」に関する記載を基本方針、施策に追加。
23					土屋委員	「地産地消」、「安全・安心の食」、「6次産業化」、「食育」はここ10年間の農業政策である。見直した方がよいのではないかな。	修正	「食育」及び「地産地消」、「6次産業化」に関する記載を追加。
24				現状と課題2 基本方針2 施策2	池田委員	現状と課題の2、基本方針の2、施策2に「鳥獣被害」を挿入したらいかがか。	修正	「鳥獣被害」に関する記載を、現状と課題の2、基本方針の2、施策2に追加。
25			87	現状と課題3	壽福委員	現状と課題の3にある「担い手の安定経営」という文言は、唐突感があり、わかりにくい。	修正	現状と課題の3の文言を修正。
26				グラフ	土屋委員	バスツアー立ち寄り件数については、直接関連する課題や施策が見当たらない。修正した方がよいのではないかな。	修正	「農林水産物販売・体験施設等へのバスツアーの立ち寄り件数」のグラフを、「農産物の販売規模別経営体数」のグラフへ差し替え。
27			88	施策1	池田委員	特産品として、「梨、キウイフルーツ」以外にも柑橘類やブルーベリーもあるので記載してほしい。	修正	柑橘類を追加、それ以外については、落葉果樹のあとに「など」を付けて対応。特産化を進める農作物が多くあり、一つひとつの記載が難しいため落葉果樹の種類の記載を削除。
28					土屋委員	施策内容の2つ目の「工務店等」がわかりにくいので、「住宅会社等」に変更したらよいのではないかな。	修正	文章全体を修正。
29		深澤委員			「地産地消」という言葉が無くなったが、地産地消を推進する施策があるので、掲載をお願いしたい。	修正	「地産地消」に関する記載を基本方針、施策に追加。	

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
30	基本目標5	3 農林水産業	88	施策1	壽福委員	地産地消・食育を進めることは移住定住を推進するためでも有効である。食育と合わせてPRをお願いしたい。	修正	「食育」及び「地産地消」に関する記載を追加。
31				施策2	土屋委員	「耕作放棄地」の記載があるが、施策3に位置付けた方が良いのではないか。	参考	新たな担い手が耕作放棄地で参入することはなく、抑制にはつながるが直接的ではないため参考とする。また、「耕作放棄地」を「荒廃農地」に変更。
32		4 中小企業等振興	89	将来のまちの姿、成果指標	深澤委員	将来のまちの姿と成果指標の「活躍し続けられるまち」の前に主語が無いため、誰が活躍し続けられる街にしたいのかわからない。	修正	将来のまちの姿と成果指標の「活躍し続けられるまち」の前に「だれもが」との文言を追記。
33				施策1	土屋委員	高齢化が進む中、中小企業等では、「技術の承継」や「事業承継」が課題となっている。記述したらどうか。	参考	施策1に「事業承継など」と記載があるため参考とする。「技術の承継」については、などに含み、具体的には個別計画において対応済み。
34				施策2		雇用面では、「高齢者」、「女性」、「障害者」、「外国人」の就労支援が課題である。こうした点について、何かしら盛り込んだ方がよいのではないか。	修正	施策2の1つ目の取組において、「若者、女性、高齢者など」と例示を追加。
35				施策2	壽福委員	市の介護支援策との連携がスムーズにいけば、介護休暇で対応できる人が増え、労働力不足の改善や生活環境の改善に繋がるのではないか。	参考	ご意見として担当課に伝える。
36				施策3	片山委員	労働力不足の解消には、「賃金」なども係わってくる。こうした記載を盛り込んでどうか。また、ここで掲げる支援策の主体は誰か。	参考	賃金に対しては、一地方自治体では直接的に取り組むことが難しい。一般的には、中小企業の経営基盤の強化や売上増加等が賃金の向上に寄与するものと考えているため、中小企業への支援のみの記載に留める。
37					井戸委員	施策3にある福利厚生を取組の内容がわかりにくい。	修正	取組の具体的な内容を追記し、文章全体を修正。

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
38	基本目標6	1 観光	91	基本方針2	土屋委員	「本市や周辺地域の観光資源の活用を図ります」との文言は、広域連携を強化して地域内、域内の回遊性を高めますという方がよいのではないかな。	修正	「周辺地域との広域連携の強化」や「回遊性を高め」との文言を含めて、文章を修正。
39			92	施策2		主要事業として、富士山観光交流ビューローの支援事業ということよりも、PRや誘客事業を記載した方がよいのではないかな。	修正	主な構成事業の「観光基本計画推進事業」には、観光関係団体と協働した観光PRの実施や各種観光資源の活用が含まれているため、本事業を一番初めに記載するように修正し、それに伴い、施策にある各項目も順番を並べ替えた。また、ビューロー支援事業も一つの事務事業名であり、引き続き掲載。
40						記述の順番を逆にして、「民間主体による観光事業の創出や活性化を図り、観光産業の底上げをしていく」という方が流れはよいのではないかな。	修正	基本方針に記述した広域連携との繋がりを考慮し、富士山周辺地域の観光関係者や自治体との連携の文言を追記するとともに、ご意見を踏まえて、文章の流れを修正。
41						施策の方向性の中で、ビジネスによる来訪者に対する取組を打ち出すような言葉を盛り込むと、産業都市・富士市の都市型の観光の充実に繋がるのではないかな。	修正	基本方針の2において、「ビジネス訪問を含む国内外の観光客」へ文言を修正。
42			93	施策3	深澤委員	「観光客の増加が見込める観光スポットの」という記述があるが、強調して書く必要があるかな。	修正	観光客の増加が見込める既存及び可能性のある新たな観光スポットの受入環境の整備であるが、ご意見を踏まえて理解しやすい文章に修正。
43						「国内外の旅行者が情報収集する最新の状況に応じ、」という文章の意味が理解しづらく感じた。	修正	旅行者の情報ニーズへの対応する主旨の文章に修正。
44			2 シティプロモーション	93	グラフ	池田委員	相談件数の上昇に対して、実際に移住してきた方の数字と対比させると具体的によいと感じるがいかがかな。	修正
45	井戸委員	移住定住相談件数の推移は、県内への移住定住相談件数を示すグラフにできないかな。また、市外への転出数を表すグラフもあるとよいと思うがいかがかな。				参考	県内への移住定住相談件数や市外への転出数は、本市の移住定住施策と関連づけて示すことは難しいため、移住定住促進の取組による本市への移住者数の推移を併記した。	

No.	基本目標	政策分野	冊子該当ページ	項目	委員名	意見・提案事項	検討結果	対応内容
46	基本目標6	2 シティプロモーション	93	グラフ	若尾委員	「少子高齢化や進学・就職に伴う若い世代の市外転出が進む」という課題について、裏付けるようなグラフがあったらよいのではないか。	修正	基本目標2・政策分野2「子ども・若者」において、「5歳階級別社会増減数の推移」のグラフを新たに掲載。
47			93・94	基本方針1 施策1	若尾委員	「富士青春市民」の文言がどこにも出てきていないので、入れてはどうか。また、市民の方が暮らしやすく生き生きと活動しているということも併せて発信してほしい。	参考	「富士青春市民」事業については、主な構成事業にある「ブランドメッセージ推進事業」の中の主要事業であり、施策1の2番目と3番目に既に盛り込まれている内容であるため、特段の明記までは考えていない。 また、地域参画総量の意味をよりわかりやすく記述し、市民の方が生き生きと活動している姿をイメージできるような文章に修正。
48		3 交流	95	グラフ	深澤委員	補助金の交付に対する人数を載せること以外のグラフがあれば、その方がよいのではないか。	修正	「富士市コンベンション等開催事業補助金交付のスポーツ大会参加者宿泊総数」のグラフについては、令和2年度はコロナの影響を受け、人数が激減しており、掲載を見送ることとし、富士山女子駅伝の写真へ変更。
49			95・96	基本方針1 施策1		スポーツ交流とスポーツツーリズムの言葉を使い分けているが、統一を図ることはできないか。	修正	スポーツ推進計画との整合性を考慮し、「スポーツ交流」に文言を統一。
50			96	施策2	土屋委員	特に文化の部分で、基本目標2での文化の記述との違いがあまりないように感じた。際立たせたり区別できたりするような文言や記述内容にした方がよいのではないか。	修正	基本目標2・政策分野5の「市民文化」において文章の修正を行うとともに、施策2の2番目には、本基本目標の特徴を出せるよう、「にぎわいづくり」の文言を追加。